

# 平成30年度 茶番劇型研修 実施報告

資料5

部署	看護師	医師	その他	計	
1号館4階	9	2	0	11	
1号館5階	(未報告)				
2-4E	16	1	2	技師	19
2-4W	7	3	2	薬剤師、CLS	12
2-5W	7	1	1	薬剤師	9
2-6E	12	2	1	薬剤師	15
2-6W	11	2	2	薬剤師	15
2-7E/W(合同)	19	2	2	薬剤師	23
2-8E	10	5	2	ME、心理士	17
2-8W	28	6	4	輸血部	38
2-9W	13	0	1	薬剤師	14
救命1	70	0	0		70
3-4E	14	2	0		16
3-4W	8	1	2	薬剤師、栄養士	11
3-5E/W(合同)	26	2	6	薬剤師、ヘルパー、クレーク	34
5号館4階	12	0	0		12
5号館5階	9	0	2	薬剤師、栄養士	11
6号館	9	10	2	薬剤師、PSW	21
MYステーション	11	0	9	薬剤師、事務、MSW	20
	291	39	38		368

## 参加診療科

新生児科	消化器外科
整形外科	消化器内科
小児科	循環器内科
産婦人科	循環器外科
メンタルヘルス	呼吸器外科
腎センター	呼吸器内科
眼科	

## 茶番劇事例内容

- ・ アナフィラキシーショックを起こした患者の事例。
- ・ 緊急入院した患者が翌朝急変(心停止)した事例
- ・ 気分不快を訴え不整脈が出現、心停止となる事例。
- ・ 肺炎、慢性心不全患者の状態変化への対応
- ・ 直腸潰瘍からの下血によるショック
- ・ 車いす搬送中の意識消失
- ・ 脳梗塞既往のある患者がトイレで転倒し後に意識レベル低下した事例
- ・ ヘパリン投与中の患者がベッドからの転落で外傷性出血
- ・ 大腸がん患者が下血。しかし治療方針が未定の事例。
- ・ 肺炎で酸素化が悪くなっている患者に当直医がなかなか診察に来れない
- ・ 患者の意識レベル変調時の医師への連絡
- ・ 医師から口頭で指示した抗生剤と実際オーダーされた抗生剤が違った
- ・ 産後の弛緩出血
- ・ 統合失調症で保護室入院中の患者が、ショックバイタル
- ・ 児の親への病状説明、心のケア介入についての説明
- ・ MYステーションでの急変、休薬に説明時患者が激怒、患者対応のたらい回し
- ・ 災害時の患者ケアについて(災害発生後72時間を見越しての動き)

## チームSTEPPSについて

係が講義

ポケットマニュアルをみんなで確認